

「ゆう活」に関する次官級連絡会議
議事概要

平成29年6月30日(金)
12:55～13:05
官邸4階大会議室

- ※ 女性職員活躍・ワークライフバランス推進協議会（第9回）との合同会議として開催。
- 議題（1）民間企業等・地方公共団体への働きかけについて
二川厚生労働事務次官及び佐藤総務事務次官からそれぞれ説明。
- 議題（2）平成29年度ワークライフバランス推進強化月間・国家公務員における「ゆう活」の取組について
内閣人事局三輪人事政策統括官から説明。
- 萩生田内閣官房副長官御挨拶
 - ・ 国家公務員のワークライフバランス推進強化月間と「ゆう活」は今年で3年目を迎える。過去2年間の取組では、定時退庁者の割合が増加するなどの効果が見られた一方、職場での業務改善や超過勤務の縮減といった目に見える成果が十分実感できないという職員の声も寄せられた。
 - ・ そういったことにしっかりと取り組む機会として、「ゆう活」を有効に活用し定着させることが今後の課題である。今年が具体的な成果を導き出す年となるよう、しっかりと取り組んでいきたい。
 - ・ 4月に開催した本協議会において、私から、働き方改革の表彰事例の横展開、超過勤務予定の事前把握の徹底、テレワークの推進、管理職のマネジメント能力の向上、「男の産休」の取得促進、といった点についてお願いをした。これらの点が今年度の各府省の取組にしっかりと盛り込まれており、大変頼もしく感じている。
 - ・ 長時間労働の是正については、「働き方改革実行計画」にも盛り込まれ、ますます重要性が高まっている。各次官のリーダーシップの下、各府省が計画した取組を確実に実践し、超過勤務の更なる縮減、職場の意識改革や業務削減等の具体的成果につなげていただきたい。
 - ・ また、今年度もワークライフバランス職場表彰を行うことを予定している。私もこれまで2回の表彰を行ったが、その中には、官民を通じた模範となるような、オフィス改革やスケジュールの共有などの優良事例もあった。失敗を恐れず、創意工夫を行い、国家公務員が「働き方改革」の先頭に立つとの心構えで取り組んでいただきたい。
- 野上内閣官房副長官御挨拶
 - ・ 夏と言えば、「ゆう活」。仕事を早く終えることで生まれる夕方の時間で、生活を豊かにしていく季節である。3年目となる本年も、官民を挙げた国民運動として盛り上げていきたい。

- ・ 民間企業や関係団体、地方公共団体におかれては、過去2年間も積極的に「ゆう活」に取り組んでいただき、多くの取組事例を御報告いただいた。報告があったとおり、厚生労働省の「働き方・休み方改善ポータルサイト」においては、民間企業の様々な取組事例が紹介されているので、是非これらも参考にさせていただき、「ゆう活」の取組を更に拡大していただきたい。総務省は、地方公共団体、特に市町村に対して積極的な取組を促していただきたい。
- ・ 各府省におかれては、「ゆう活」の取組を一層深化させるとともに、優良事例の紹介、所管団体への要請などの働きかけを、引き続き進めていただきたい。また、日々の業務のあり方を不断に見直し、ワークライフバランスの実現に努めていただきたい。
- ・ また、プレミアムフライデーなど新たな取組も始まっている。国家公務員においては、これまでも休暇の取得促進に取り組んでいただいたところであるが、こうした取組とも併せて、官民共に働き方改革が加速することを期待している。

以 上